

町民憲章の 成り立ちを振り返ります

葛巻町民憲章

葛巻町は、雄大な北上山系の山ふところにつつまれた自然のきびしい町です。

わたしたちは、先人のたくましい意志を受け継ぎ、町民の限らない幸せを願い、住みよい町づくりをめざして、この憲章を定めます。

第1章 幸せな輝かしい未来のために、たくましい体力と気力、知性と創造性に満ちた人を育てる、教育の町づくりにつとめます。

第2章 明るく楽しい生活のために、きまわりを守り、温かい心をもって、互いに助けあう、福祉の町づくりにつとめます。

第3章 豊かな美しい郷土のために自然を愛し、資源の活用に力を合わせて生き生きと働く、産業の町づくりにつとめます。

(昭和50年5月15日制定)



町民憲章を再確認し、幸せを実感できる町づくりを進めていきましょう

町民憲章の成り立ち

町民憲章は、町村合併20周年を記念して、より良い町づくりをめざす「町民の合言葉」として制定されました。

町民憲章の制定にあたって、町、議会、農商工団体など各関係機関の代表者により「町民憲章制度準備委員会※」が組織され、町民憲章の原案づくりが行われました。

作成に当たっては、次の3つが基本方針とされました。①「前文」は、厳しい自然条件を直視し、先人の努力を強調する。②文章はできるだけ易しくする。

③町の初代町長である遠藤喜兵衛町長が設定した「まちづくりの基本構想」を基調とする。

作成された原案は、成案として昭和50年5月15日の臨時議会において議員発議により提案、可決し、「葛巻町民憲章」として制定されました。

推進協議会の設立

町民憲章の制定と同時に、町民憲章を守り、次の世代に確実に受け継いでいくことを目的に、「町民憲章推進協議会」が設立されました。現在、同協議会(中村哲雄会長)は、町内の70を超える団体、企業が加盟しており、町民憲章の普及啓発と、町民憲章に掲げる町づくりを目指して一丸となって取り組んでいけるよう、連携を深めています。

町民憲章の再確認を

町村合併60周年、そして町民憲章制定40周年となるこの節目の年に、町民一人一人が町民憲章の理念を再確認し、前文に掲げる町民の限らない幸せと、住みよい町づくりを目指して努力していきましょう。

町民憲章推進協議会の
設立40周年を記念し、
うちわを制作します



= 表面 =



= 裏面 =

葛巻町60周年記念式典や成人式などの行事で配布し、町民憲章の啓発に努めます。

※町民憲章制度準備委員会委員(昭和50年6月1日発行「郷土」(広報くずまきの前身)より抜粋) ▶遠藤俊平(商工会長) ▶鈴木輝雄(葛巻農協組合長) ▶久保文男(江刈農協組合長) ▶福田信一(森林組合常務) ▶遠藤キセ(町婦協会会長) ▶服部晴男(町青協会会長) ▶落合明(小中学校長会長) ▶榎木信吉(総務常任委員長) ▶下又清(産業土木委員長) ▶土谷育造(教育民生委員長) ▶田口敏夫(助役) ▶遠藤昌次(収入役) ▶近藤新吉(教育長) ▶遠藤秀雄(企画商工課長) ▶十文字勝男(総務課長)

いま、注目の人に Zoom-up

第70回東北高等学校総合体育大会 陸上競技・男子やり投げ 6位入賞

葛巻高校3年 澤口 翔太さん || 江刈馬淵 ||

という気持ちを込めて望んだラスト3投で、インターハイ出場を決められて本当に良かったです。

■陸上を始めたきっかけは?

中学生の時は、夢中になれることを見つけれず進路にも悩んでいました。高校進学は、地元の葛巻高校を選択。もともと運動が好きだったので、入学とともに陸上部に入部し、本格的に競技に取り

組みました。入部当時は全く今の状況を想像していませんでした。

■インターハイに向けて

最初はインターハイ出場を目標にして頑張ってきましたが、ここまできたらもっと欲を出して自己ベスト更新を狙いたいです。インターハイまでまだ時間があるので、さらに練習に励み、まずは予選通過ラインの60分突破を目指します。

葛巻高校陸上部 顧問 菊地 敬太先生より



自らグラウンドの草取りをして、練習場所を確保するくらい練習熱心な生徒です。ずっとインターハイ出場を目標にしてきましたので、とてもうれしく思います。

県大会の時もでしたが、追い込まれてから力を発揮する選手です。試合を見てとても緊張しましたし、興奮しました。

インターハイに出場する以上は、出るだけではなく勝負したいと思いますので、ぜひ決勝へ進んでほしいです。

葛巻高校から28年ぶりの快挙 インターハイ出場が決定

■東北大会を振り返って

ずっと目標にしていたインターハイに出場できるのでうれしです。3投目までは8位の記録でした。応援してくれたクラスメイトや顧問の菊地先生へ恩返しをする



身長165cm、体重66kgと小柄ながら、力強く大きなフォームでやりを遠くへ飛ばします。※やりの重さは800g、長さは2.6～2.7m